

乳がん検診（施設）

動 向

本邦における乳がんの罹患率は大変高く厚生労働省関連の統計データの「主要部位別がんの推定罹患数と年齢調整罹患率2013」の中でも、依然1位となっている（平成28年度 国立がんセンターがん対策情報センター 調査）。神奈川県は乳がん検診受診率は13.9%であり、昨年14.5%に対し0.6%減少したが全国平均13.3%よりも若干上回っている（平成27年度 政府統計総合窓口 調査）。当施設での乳がん検診は横浜市・鎌倉市の乳がん検診（対策型検診）を除くと他はすべて任意型の検診であり（巡回検診を行った企業検診も便宜上施設検診に含めた）、厚労省の指針が出る前よりマンモグラフィ（以下MMG）併用検診を施行して来た。MMG検診の乳がん発見率の比較的低い30～40歳台には超音波検診（以下US）を積極的に行っている。さらに他の年齢階層受診者でも逐年受診者にはUS、MMG検診を交互に行うことで、放射線被曝の減少に努めている。

最近、乳房濃度が高い受診者ではMMG検診では感度が低く乳がんの罹患リスクが高いことが示されている。当協会では受診者が高濃度である場合には極力その旨を告げ、次年度にはおいてUS検診を受ける様に指導している。また、平成18年度より、NPO法人乳房健康研究会と共に、乳がんの早期発見・早期治療を目指し、“ピンクリボンかながわ”事務局として、その活動に積極的に取り組み、乳がん検診受診率向上と、乳がんについての知識の普及・啓発を行なっている。

結 果

平成28年度の受診者の内訳は表1に示す如くであり、視触診だけのものは徐々に減少し今年度は4%となったが、早期癌発見には結び付かない視触診のみの検診はなくす様に引き続き努力すべきであろう。US併用群が増加する傾向にあり、逆にMMG併用群（MMG、US、視触診の3者を同時に行ったものも含む）はわずかながら減少している。乳がん発見にUS検査が有用であることが臨床試験（J-start）で示され、高濃度乳房のことがマスコミで取り上げられたことがUS併用検診の増加に影響していると思われる。26年度、27年度に比べ28年度は受診者数が減少したにも関わらず乳がん発見数は僅かに増加し、乳がん発見率は0.34%であった（表2）。各群ごとにみると視触診群からは1例のみであり乳がん発見率は0.12%であった（表3）が、US併用群では6例発見されており発見率は0.10%、MMG併用群では26例が発見されており発見率は

0.25%であった（表4、5）。これに対し要精検とされたが乳がんの診断にはいわず経過観察を行っていた群からは35例の乳がんが発見され発見率は1.40%と明らかに高くなっていった（表6）。これは早期の乳がんでは始めは画像上ははっきりした所見を呈さず、経過観察していくうちにはっきりしてくるものが多いことを示唆するものである。年齢階級別の受診者はUS併用群では40歳以前の受診者が多く、これに対しMMG併用群では40歳以前の受診者少なく、40～60歳台が多いが、乳がんの発見率はいずれの群でも高齢になるに従って高くなる傾向が認められる。

表7に精検結果を示すが視触診群の要精検者は1～2%であり極めて低いが、他の群では6～7%である。これは昨年のデータと比べてあまり変化がない。要精検者の中からのどの程度乳がんが見つかるかを示す総陽性的中率は全体では2.95%であり、これは全国標準とほぼ同じである。各群においては視触診群で10%と高く、US併用群では1.52%と低い、またMMG併用群で3.64%であった。ここ数年同様な結果が得られている。US併用群の陽性的中率が低いことは疑陽性が多いことを物語っており、前述の臨床試験でも指摘されている。

乳がんであった68例中病理組織が判明した63例66病変について記載すると66病変中18例27%は非浸潤癌であり、浸潤癌は48例73%であった。Stageは0期が18例、I期が28例、II期以上が12例、不明8例であり全体の79%がStage1以下の早期がんであり、Stage2以上のものは21%であった。

考 察

平成28年に厚労省は科学的根拠に基づくがん検診の徹底をもとめて乳がん検診において「視触診」は手技に十分習熟していない医師もおり精度が低いことからMMGによる検診を原則とし「視触診」は必須としない指針を発表した。このことをうけて現在当施設では「視触診」を省略してMMGのみの検診を受ける受診者もいる。しかし本施設の医師はすべて十分に視触診の手技に習熟しており、視触診を併用した方がよりきめ細かな検診が出来ると感じている。

本施設における乳がん検診では全体の8割以上が早期がんであり、検診機関としての役割を果たすことが出来ていると考えるが、今後もより効率の良い検診を目指していくつもりである。

関係の集計表は97頁に掲載